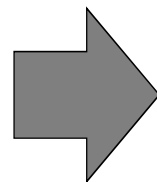


第一回懇談会の主な意見

- ・伸び率が低いから不要ではといった考え方は逆で、4つの重点医療は外せない。
- ・順天堂と同じ規模(400床)を目指すべき。
- ・400床と言わず、もっと増やしてもいい。
- ・外来の待ち時間が非常に長い。
- ・旧光七小は、南側道路に中央分離帯が設置されている。病院専用のトンネルの設置や地上部緑地の整備など環境への配慮を。
- ・高度急性期をめざして他の病院と競争するのではなく、地域の方が遠くの病院へ行くことが難しくなったときに、しっかりと診ることのできる、地域の方が困らない病院にすべき。
- ・歯科口腔外科を新設し、病診連携の充実を。
- ・診療所と病院の連携を深めていくことが重要だ。
- ・急性期から在宅に戻すまでのリハビリが重要であり、これに対応できる介護機能を望む。
- ・現病院を移転後に活用すべき。 等



主な意見を踏まえた医療介護等の方向性

- 4つの重点医療を含めた現状機能は引き続き担うべき
- 増床すべき
- 高齢化にしっかり対応できる病院を
- 地域で最期まで暮らせるように